

- 学会になんらかのかたちで参加している学生の数がそもそも少なく、かつ大学も限られている
- ・新規会員の獲得のための仕掛け
 - ネット広告：臨床統計の分野で学生に向けたSNS発信の成功体験
 - オンラインイベントの開催：ポジションステータ的な論文、分野をまたぐような記事の勉強会
 - > オフ会のような視点が多少入っていてもよいだろう。宿泊を伴う研究会、合宿もありか
 - 日本保健物理学会が学会間の情報や人材のハブ的な役割をめざしても良い
 - > 会費の減額や権利を軽減したセカンド会員（準正会員）としての新しい枠組みはどうだろうか？
 - 教員側から、学生の活動参加への背中を押していただく必要はある
 - > 2019年度のNUMO事業への勧誘にかなり苦労した経験あり
- ・若手研と学友会の関係
 - 2組織の目的、メリット、デメリットを再度整理する必要あり
 - > 現メンバーが最も活動しやすく、目的が達成しやすい形態、連携方法、新しい組織を目指せばよい

以上